

編集後記

■編集委員 (50 音順)

伊熊健一郎	岩崎昭憲	小澤壯治	北島政樹
北野正剛	清水一雄	徳村弘実	東原英二

本誌 12 月号の特集は「内視鏡下脊椎手術の進歩」であるが、内視鏡下手術もここまで来たかという感是否定し得ない。1987 年、フランス人モレーが胆嚢摘出手術に成功して以来、わずか 17 年の歴史であり、その間、医工連携により、テクノロジーの導入が速やかに行われ、手術ロボット・ダヴィンチによる手術が 2000 年 4 月にアジアで初めて本邦で行われた。その後、combined manipulator の触覚の研究、遠隔手術、特にわが親友のマレスコ先生とギャグニエル先生のリンダーバーグ手術 (transatlantic surgery) の成功など内視鏡下手術は話題性に事欠かない。

このような内視鏡下手術の技術や機器開発に人一倍興味を持ち、取り組んできた私であるが、それには歴然とした背景がある。1975 年、30 歳代前半に米国の古都ボストンの MGH で研究生生活に入ったことに始まる。私の恩師、パーク先生は優れた academic surgeon (日本外科学会名誉会員) であり、先生の研究の姿勢や研究成績の評価と将来の展望を知らず知らずのうちに学ぶことができた。

すなわち、MGH は映画のストーリーにも出てきたチャールズ河を挟んで対岸にかの有名な MIT (マサチューセッツ工科大学) が存在し、この 2 施設間でつねに医工連携が推進されていたことである。30 歳代の私にとつてはこの姿こそ、将来、日本の外科に導入されるべきと心密かに思っていたわけである。留學後、27 年過ぎた今でも“基礎医学と臨床医学の融合”や“医工連携”は私のモットーであり、今後もおそらく推進していくことと思われる。このような矢先に、最近、日野原重明先生と瀬戸内寂聴氏共著の『いのち生きる』という著書をいただいた。その中で、特に私に感動的であったのは“いくつになっても「これをやらなきゃ生きていられない」というものを持っていきたい”と“ともかく始めてみることに、使っていない遺伝子のスイッチオンになります”という一節であった。

われわれの同年代の教授たちが近年、次々と停年になり、一線を退いていく一抹の寂しさがあるが、残された数年の間に前述の言葉を心に秘めて、新たな遺伝子のスイッチオンをしようかと思う今日である。

新たなことにチャレンジする前に、まず健康第一であるが、長寿社会において高齢でありながら、未だ世の中の先導者になり、活躍されている人がいる。日野原重明先生もそのお一人であり、私の絵画の恩師であり、日本画の大家 T.K 先生ももうすぐ 100 歳を迎えられるが、現在も富士山を中心に絵描き続けておられる。いったいどのような食生活をされているのか興味深い。私の親友の一人、ドイツ外科学会会長、RS 教授は世界的にも有名な食道外科医であり、ある国際学会のときに談笑する機会があった。食生活の話をしている最中に“Masaki, ビタミン剤を自分は飲んでいるが飲んでいるか?”と聞かれた。私もそうであるが、体重を気にせず大食の友人がこの程度の食生活管理かとほっとした次第である。

(北島政樹)

日本内視鏡外科学会雑誌 (第 9 巻 第 6 号) 2004 年 12 月 15 日発行・隔月刊

Journal of Japan Society for Endoscopic Surgery (Tokyo)

1 部定価: 会員には毎号送付されます。その他については、1 部定価 2,835 円 (本体 2,700 円 + 税 5%) となります。

2004 年 年ぎめ予約購読料: 16,500 円 (税込) (配送料: 医学書院負担)

編集・発行: 日本内視鏡外科学会 (代表: 北島政樹)

〒162-0802 東京都新宿区改代町 26-1-B03 有限責任中間法人学会支援機構内

(☎ 03-5206-6007 Fax 03-5206-6008 担当: 佐々木) <http://www.jses.org>

Published by Japan Society for Endoscopic Surgery, 26-1-B03 Kaidaicho Shinjuku-ku, Tokyo, 162-0802, Japan

©2004, Printed in Japan

発 売: (株) 医学書院 (代表: 金原 優) (本誌担当: 蔵田, 中田) <http://www.igaku-shoin.co.jp/>

<http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/jses/>

〒113-8719 東京都文京区本郷 5-24-3 (振替口座 00170-9-96693 番)

本誌編集室直通 ☎ 03-3817-5707 (Fax 03-3815-7802 E-mail: jses@igaku-shoin.co.jp)

販売部直通 ☎ 03-3817-5659・5660 (Fax 03-3815-7804)

印刷所 横山印刷(株) ☎ 03-3622-6161 (Fax 03-3625-1591)

広告申込所 (株) 文栄社 ☎ 03-3814-8541 (Fax 03-3816-0415)

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。